

平成26年度校内研究計画

山梨市立山梨北中学校

1. 学校課題

(1) 教科における課題

本校の平成25年度全国学力状況調査において、国語A問題では「書くこと」の領域が65, 7%と低く、国語B問題では、「書くこと」67, 1%、「読むこと」65, 9%と低く、B問題では無回答率も増えています。数学では、A問題B問題とも「資料の活用」が48, 0% (A問題)、42, 6%と低く、資料から読み取る力がかけていると考えられます。また、記述式になると正答率が低くなる(35, 0%)とともに無解答率も39, 7%と高くなります。

また平成25年度山梨県学力把握調査において、国語では記述式が54, 9%と県の正答率と比較しても低いことがわかりました。同様に、数学の記述式では56, 0%、英語の記述式では40, 6%とともに低い正答率になっています。無回答率も記述式の問題で高くなっています。

どちらの調査でも、本校の生徒は「書くこと」の力をつけさせる必要があると考えます。

(2) 生活習慣・学習習慣における課題

生活習慣においては、全国・県の基準より低く、改善が必要な面があります。学習習慣においては、家庭学習も含め定着してきているところです。

2. 研究主題

「確かな学力の向上をめざす学習指導に関する研究」

～言語活動の充実による授業改善～

3. 主題設定の理由

本校は平成20年から「確かな学力の向上をめざす学習指導に関する研究」の研究主題のもとで「確かな学力」の育成をめざして取り組んできました。平成22年度からは、サブテーマとして言語活動の充実における授業改善に取り組みました。生活・学習の基盤である学級・学年の集団づくりにおける言語活動として「朝の会・帰りの会の司会、学級会での班活動などの話し合いの場面での筋道を立てた話し方」の指導を行いました。また楽しくわかる授業における言語活動の充実のために「知識・技能の確実な定着のための言語活動」や「論理的思考力の育成のための言語活動」の取組を行いました。昨年度の取組結果、話し合いの仕方、種類、発表の仕方などの形式を学びましたが、実践面で課題も残りました。

「全国学力・状況調査児童生徒質問紙」では過去3回分の言語活動に関わる質問の回答を見ると、78, 5% (平成25年)・70, 2% (平成24年)・81, 5% (平成22年)の生徒が学校の授業などで、自分の考えを人に説明したり、文章を書いたりするのは難しいまたはどちらかというとなんと考えている状況がみられます。

このことから、より一層の言語活動の充実が、今本校に求められます。

4. 研究の具体的取組内容と方法

(1) 授業形態の改善と統一 「山北スタイル」づくり

本校が従来行ってきた各教科における「受信→思考→発信」を見直し改善します。それぞれの過程でどのような手だてが良いか研究します。

[例] ①モチベーションをあげる提示 (興味・関心・意欲を高めるもの)

→最新の話題、生活に関わる話題、画像等の提示等

②ノートに自由に記述させる手だて (思考・判断・表現を高める手だて)

→白紙、「無解答対策」としての、話型の提示、ヒントの提示など

- ③自由な解決と表現，意見交換，仮説に基づく実験・観察等（思考，技能・表現）
→小グループのホワイトボードの活用・表現（結果・答えの発表等）
- ④共通理解が図れる工夫，次につながる評価（知識・理解）
→知識整理が図れる板書，図表などの提示の工夫

(2) 基礎学力定着取組の継続

- ①自主学習ノートの作成 → 「自学ノート」：良いものを展示，作成方法指導
- ②家庭学主時間記録ファイル → 「学習計画表・実施結果」：定期点検
- ③朝学習 → 読書活動の定着，「書くこと」の定着「作文」の実施
- ④山北サポートタイム → 基礎基本の定着「国語」「数学」「英語」で年間10回実施

(3) 教材教具の開発・工夫

- 授業改善に関わって，生徒の理解を支援する教材の開発と工夫。
 - ・県教委の授業改善プランに関わる教材・教具の開発工夫。
 - ・本校生徒が課題の多い単元の，教材・教具の開発・工夫。

(4) 教科に関わる掲示物の工夫

- ・学力向上につながるような，教材（図表・ポスター・授業関連資料等）の掲示，話型（授業の受け答え・やりとりのパターン）の掲示などを通して，授業だけでなく，自然に興味関心を持ったり，暗記したりできるようにします。
- ・教科・学年ごとに共通の教室掲示をしたり，廊下，特別教室等で実施。
- ・定期的に張り替え，通念を通して計画的に行います。

年間校内研修計画

研究主任 丹澤 基予子

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
言語活動の充実による授業改善 「授業改善プランに基づいた教科授業」	数学	(未定)	(未定)	11/19 (水)	○
言語活動の充実による授業改善 「授業改善プランに基づいた教科授業」	理科	(未定)	(未定)	11/19 (水)	○
言語活動の充実による授業改善 「授業改善プランに基づいた教科授業」	英語	(未定)	(未定)	11/19 (水)	○
言語活動の充実による授業改善 「初任者による研究授業」	社会	志村真宏 教諭	2年	12月	○
言語活動の充実による授業改善 「初任者による研究授業」	道徳	志村真宏 教諭	2年	2月	○